

|              |  |                                       |  |              |             |             |   |  |  |  |
|--------------|--|---------------------------------------|--|--------------|-------------|-------------|---|--|--|--|
| 試合番号 : 132   |  | 試合会場 : CNAアリーナ★あきた (秋田市立体育館)          |  |              |             | 観客数 : 2,834 |   |  |  |  |
| 開始時間 : 16:00 |  | 終了時間 : 18:30                          |  | 試合時間 : 02:30 |             | 主審 : 浅井 唯由  |   | 副審 : 新田 浩幸   |  |  |
| ジェイテクトSTINGS |  | 通算 2勝 5敗<br>ポイント : 7                  |  | 22 第1セット 25  |             | パナソニックパンサーズ |   | 通算 5勝 2敗<br>ポイント : 15  |  |  |
| 監督コメント       | まずは粘り強いプレーをみせたパナソニックさんを讃えたいと思います。我々は全力を出し切ったがアンラッキーなことに勝つことができませんでした。残念な結果となりましたが、明日の試合に向けてしっかりと準備をしていきたいと思っています。本日は多く声援ありがとうございました。   |                                       |  | 2            | 20 第2セット 25 |             | 3 | 非常に大事な勝利。最初の2セットは良いプレーしてましたが、途中で止まった。同じレベルでプレーするのが大事です。本日に嬉しい勝利。選手も色々変えながらプレーをして続けた。明日の試合のため準備しておきます。応援よろしくお願ひします。   |  |  |
|              | ジェイテクトSTINGSがホーム秋田にパナソニックパンサーズを迎えるの一戦。第1セット、パナソニックは仲本の効果的なサーブやクビアクのスパイク、ブロックで序盤にリードを広げる。ジェイテクトはウルナウトのスパイクなどで応戦し点差を縮める。パナソニックは山内のブロックや清水のスパイクで善戦し得点を重ね、第1セットを先取る。第2セット、終盤まで一進一退の攻防が続く。セット終盤に仲本や山内のスパイクなどでリードを奪ったパナソニックがジェイテクトを振り切り、セットを連取する。第3セット、後がないジェイテクトは柳田にトスを集め序盤にリードを奪う。対するパナソニックは清水のスパイクや山内のブロックなどで同点に追いつく。セット中盤、ジェイテクトはウルナウトの連続得点などで抜け出し再びリードを奪い、セッター河東が相手に的を絞らせないトス回して相手を翻弄しジェイテクトがセットを取り返す。第4セット、中盤までどちらも引かず一進一退の攻防が続く。ジェイテクトは福山、藤中の連続ブロックで勢いに乗り、セット中盤にパナソニックを引き離す。パナソニックは西山の連続サービスエースで粘りを見せるもジェイテクトがこのセットを取り切り、フルセットに持ち込んだ。第5セット、パナソニックは序盤の競った展開から大竹のスパイクやクビアクのサービスエースなどでリードを奪う。ジェイテクトは柳田にトスを集め、粘りを見せるが最後はクビアクがスパイクを決め、パナソニックが勝利を収めた。 |                                       |  |              | 25 第3セット 18 |             |   |  |  |  |
|              | 25 第4セット 20  |                                       |  |              | 25 第5セット 15 |             |   |  |  |  |
|              | 27 第1セット 29  |                                       |  |              | 12 第2セット 25 |             |   |  |  |  |
|              | 16 第3セット 25  |                                       |  |              | 第4セット       |             |   |  |  |  |
| 第5セット        |  |                                       |  |              |             |             |   |  |  |  |
| 試合番号 : 133   |  | 試合会場 : スワンドーム (岡谷市民総合体育館)             |  |              |             | 観客数 : 600   |   |  |  |  |
| 開始時間 : 14:00 |  | 終了時間 : 15:31                          |  | 試合時間 : 01:31 |             | 主審 : 慈眼 雅啓  |   | 副審 : 服部 篤史   |  |  |
| VC長野トライデンツ   |  | 通算 1勝 6敗<br>ポイント : 3                  |  | 27 第1セット 29  |             | 堺ブレイザーズ     |   | 通算 6勝 1敗<br>ポイント : 18  |  |  |
| 監督コメント       | VC長野ホームゲームでしたが、結果残念なゲームになり、ご声援いただいたたくさんの方々に申し訳なく思います。第1セットこそ良い流れでスタートできましたが、ここぞという時の失点が多く、セットを取り切ることができなかつた。第2セット以降、全く自チームの良さを出すことができなかった。諦めずに戦ったものの、応援していただいている皆様には申し訳なく思います。明日への試合に切り替え、しっかりと戦ってきたい。たくさんのご声援ありがとうございました。   |                                       |  | 0            | 12 第2セット 25 |             | 3 | 今日の試合は、最初のセットを接戦で取り切ることができたことが、大きな要因だったと思います。サイドアウトの応酬で、終盤まで進んだところでチームの強みであるブロックが出たことで、勝ち切ることができました。控えメンバーもほぼ全員出場し、総力戦での勝利。明日の試合もONE TEAMで戦います。熱い応援、ありがとうございました。   |  |  |
|              | 堺ブレイザーズを迎えてVC長野トライデンツ今季長野県内での初試合は、セットカウント3-0で堺が勝利した。第1セット、両チーム共に様子を見るように静かにスタートした。8-8まで1点ずつの攻防が続いたが、中盤VC長野はドニの効果的なサーブでこの試合初の連続得点をし11-8とする。その後も池田(幸)の強気なアタックで17-12と5点差まで開くが、堺は赤星の投入を機に18点で同点に追いつく。1点差を争う好ゲームは堺がセッター深津の絶妙なネットプレーに続き、連続ブロックで締め括った。第2セットは一方的な展開となった。堺はバノンを中心に全員攻撃を仕掛け得点を重ねる。一方VC長野は決め手に苦しみ得点につながらない。堺は松本の2連続得点などそれぞれの選手が持ち味を發揮し、25-12でこのセットを取った。第3セットは堺・高野の2連続サービスエースで始まる。ブロックを抜けたボールをうまく処理し得点につなげるなど、やる事が全てうまくいく堺。中盤では2度の5連続得点でVC長野を突き放した。VC長野も三輪のアタック、サーブポイントなどで3連続得点し追い続けるが、堺・山口がサーブを決めこの試合を締め括った。  |                                       |  |              | 16 第3セット 25 |             |   |  |  |  |
|              | 19 第1セット 25  |                                       |  |              | 14 第2セット 25 |             |   |  |  |  |
|              | 19 第3セット 25  |                                       |  |              | 第4セット       |             |   |  |  |  |
|              | 第5セット  |                                       |  |              |             |             |   |  |  |  |
| 試合番号 : 134   |  | 試合会場 : 鳥取県民体育館                        |  |              |             | 観客数 : 950   |   |  |  |  |
| 開始時間 : 14:00 |  | 終了時間 : 15:24                          |  | 試合時間 : 01:24 |             | 主審 : 國頭 亮太  |   | 副審 : 本間 明  |  |  |
| JTサンダーズ広島    |  | 通算 5勝 2敗<br>ポイント : 15                 |  | 19 第1セット 25  |             | サントリーサンバーズ  |   | 通算 5勝 2敗<br>ポイント : 14  |  |  |
| 監督コメント       | 良いところなく試合が終わってしまいました。特にアタックの数字が全体的に低く決めきれない場面が多かった。明日は全体のパフォーマンスを上げて試合に臨まねばならない。ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。   |                                       |  | 0            | 14 第2セット 25 |             | 3 | 本日もサンバーズへの多大なご声援ありがとうございました。勝利数で我々を上回っているJT広島との試合ということで、選手達はかなり気持ちが入っている状態でした。ホームということでJT広島には少し固さがあった様に感じましたが、明日は必ず修正してくとお思いますので、我々も今日の試合を振り返り明日の準備をしたしたいと思います。JT広島の強いサーブとアタックが機能した時の力は間違いなく我々の脅威となるので、如何に力を発揮させないかということが大事だと思います。そういった所も注目していただけるとバレーボール観戦が面白くなるとお思いますので、是非考察しながらも観てほしいです。引き続きサンバーズは"PLAY HARD"のスローガンの下、更なる成長を続けていきたいとお思います。アウエーでしたが素晴らしい環境をありがとうございました。              |  |  |
|              | JTサンダーズ広島が、サントリーサンバーズをホームに迎える一戦は鳥取の観客を魅了する白熱した試合になった。第1セット、序盤サントリーはアラインのバックアタックなどでリードを奪う。中盤競り合うも、サントリーは小野のブロック、影のクイックが要所で決まり、そのままリードを守りセットを先取した。第2セット、流れを変えたJT広島であるが、序盤にミスが続く大きくリードを奪う。サントリーはムセルスキーの強烈なアタックでポイントを重ね、JT広島の猛攻を寄せ付けることなくセットを連取した。第3セット、後がなくなったJT広島はセッターを阿部に代えて流れを変える。そして序盤はスパイクをラッセルにボール集めて互いに譲らない一進一退の展開となった。サントリーは影のブロックと藤中(謙)のスパイクで流れを引き寄せ中盤を抜け出す。JT広島は新井を投入するがサントリーの勢いを止めることはできず、最後はムセルスキーのバックアタックが決まりサントリーがストレートで勝利した。   |                                       |  |              | 19 第3セット 25 |             |   |  |  |  |
|              | 20 第1セット 25  |                                       |  |              | 22 第2セット 25 |             |   |  |  |  |
|              | 17 第3セット 25  |                                       |  |              | 第4セット       |             |   |  |  |  |
|              | 第5セット  |                                       |  |              |             |             |   |  |  |  |
| 試合番号 : 135   |  | 試合会場 : サイクルショップコダマ大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館) |  |              |             | 観客数 : 800   |   |  |  |  |
| 開始時間 : 15:00 |  | 終了時間 : 16:30                          |  | 試合時間 : 01:30 |             | 主審 : 林 淳一   |   | 副審 : 平田 敬基   |  |  |
| 大分三好ヴァイセアドラー |  | 通算 0勝 8敗<br>ポイント : 0                  |  | 20 第1セット 25  |             | ウルフドッグス名古屋  |   | 通算 7勝 1敗<br>ポイント : 21  |  |  |
| 監督コメント       | 本日はホームでのたくさんのご声援ありがとうございました。ウルフドッグス名古屋さんの懸命なサーブに各セットの終盤に崩されてしまったのが敗因だと思います。次の試合は一週空いて大分でのホームゲームです。会場での声援を力に勝利を目指しますので、応援よろしくお願ひします。  |                                       |  | 0            | 22 第2セット 25 |             | 3 | 相手チームが非常に良いプレーをしていた為、点を取る場面でも簡単ではありませんでした。しかしながら、途中から出場した選手の活躍でセットを勝ち取ることができたことを誇りに思います。今日出たチームの課題を修正し、また新たな可能性を常に模索しながら我々ウルフドッグス名古屋が目指すパランスの取れたバレーボールを安定的に展開できるように成長し続けたいとお思います。この2試合をプレーできたことを非常に幸運に思いますし、我々の地元名古屋を含め、全国各地から長い距離を時間をかけてかけつけてくれたファンの皆様に対して最大限の感謝を伝えています。また、メディアを通じて応援してくださる世界中のファンの皆様、ありがとうございました。来週は"エントリー"でのホームゲームが予定されており、たくさんの方のファンの皆様の前でバレーボールができることを楽しみにしております。 |  |  |
|              | 地元大分でなんとか勝ちが欲しい大分三好ヴァイセアドラーと連勝を伸ばして勢いをキープしたいウルフドッグス名古屋との一戦。第1セット、大分三好は古賀、藤原、WD名古屋は椿山を軸に攻撃し、一進一退の展開となる。WD名古屋・山崎の連続サービスエースから流れを掴み、最後は傅田のブロックで第1セットを奪う。第2セット、大分三好はブロックからの攻撃を古賀がしっかりと打ち切り、終盤までリードする。しかし、WD名古屋の王の連続ポイントで逆転すると、最後は競り勝ってWD名古屋が連取して王手をかける。第3セット、なんとか反撃の糸口を掴みたい大分三好だが、WD名古屋・椿山が要所で着実にポイントを取り、なかなかペースを掴むことができない。終盤で、傅田の連続ブロックで差を広げると、勢いそのままに勝負を決めた。WD名古屋は好調のまま7勝目をあげ、首位をキープした。   |                                       |  |              | 17 第3セット 25 |             |   |  |  |  |
|              | 20 第1セット 25  |                                       |  |              | 22 第2セット 25 |             |   |  |  |  |
|              | 17 第3セット 25  |                                       |  |              | 第4セット       |             |   |  |  |  |
|              | 第5セット  |                                       |  |              |             |             |   |  |  |  |